



関西「文化の道」事業 人形浄瑠璃フォーラム

あなたに会える里の舞台

集落に残る農村舞台が人々の交流を生む。
村に残る人形浄瑠璃芝居を守り、次世代につなげる。
それぞれの場所で芝居や舞台を守り続ける方がいます。
今回、阿波十郎兵衛屋敷に集まり、地域に残る伝統芸能の意味を考えます。

日時 平成26年3月15日(土) 14:00 定期公演～終了後フォーラム開始

会場 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

徳島市川内町宮島本浦184

ご覧いただくには、入館料が必要となります。

一般 400円 高・大学生 300円 小・中学生 200円

先着200名様に
「えびす鯛」しる粉
プレゼント。

主催 関西広域連合「文化の道」実行委員会

後援 人形浄瑠璃街道連絡協議会

問い合わせ とくしま文化振興課 〒770-8570 徳島市万代町1-1 Tel.088-621-2249 Fax.088-621-2819

文化庁

平成25年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)



基調報告 45分

①「徳島の農村舞台の現状」

NPO法人阿波農村舞台の会 佐藤憲治氏

②「神戸市北区(丹生山田)での農村歌舞伎舞台の活用」

神戸市北区役所まちづくり推進課 池澤和之氏

③「芝居小屋を活用した地域づくり」

NPO法人クオリティアンドコミュニケーションオブアーツ理事長 徳永高志氏

* 休憩 15分

パネルディスカッション 55分

① テーマ「人形浄瑠璃による“地域づくり”」

② 議論の方向性

商業的な成立が困難な伝統文化。

しかし、関西各地では人形芝居が今も息づいています。

その理由を確認しつつ、伝統芸能・地域の行事の継承が

地域にもたらす役割(地域コミュニティの形成等)を考えます。

さらに、関西を中心に全国に広まった人形浄瑠璃が連携してできることを探ります。

③ 出演者

コーディネーター

・NPO法人クオリティアンドコミュニケーションオブアーツ理事長 徳永高志氏

徳永高志氏プロフィール

1958年生まれ。博士(文化政策学)。

全国芝居小屋会議専門アドバイザー。茅野市民館コアアドバイザー。

内子座、淡路人形座などの運営にもかかわる。

著書に『芝居小屋の二〇世紀』『公共文化施設の歴史と展望』等。

パネリスト

・淡路人形座応援団事務局長 田端幸子氏

・神戸市北区役所まちづくり推進課 池澤和之氏

・那賀町教育委員会(那賀町農村舞台再生協議会事務局) 大谷達也氏

・阿波十郎兵衛屋敷ボランティアガイド 代表 郡利明氏

・NPO法人阿波農村舞台の会 佐藤憲治氏

・(公財)阿波人形浄瑠璃振興会 平成座座長 藤本宗子氏



「えびす鯛」しる粉 *先着200名様に進呈

人形遣いのルーツは、えびすの人形を操りお札を売って、えびす信仰を全国に広めた西宮神社の「えびすかき」。阿波、淡路の人形座や人形師、箱廻し芸人たちの活躍により、人形浄瑠璃は全国へ広まりますが、えびすの人形が大きな鯛を釣り上げて、五穀豊穡・商売繁盛・家内安全を祈願する「えびす舞」は、その原点として、今も多くの人に親しまれています。福の神が釣り上げたえびすの福をお楽しみください。



神戸市北区(丹生山田)上谷上農村歌舞伎舞台



会場アクセス(徳島県立阿波十郎兵衛屋敷)

車●JR徳島駅より約15分。●徳島ICより約5分。●鳴門ICより約20分。

川内循環バス(JR徳島駅前よりバスターミナル7番のりば)●約30分。「十郎兵衛屋敷」下車すぐ。